

■令和7年度使用 中学校（特別支援学校の中学部を含む）用教科用図書の調査研究資料 ～音楽（器楽合奏）～

調査項目	着眼点	調査内容	「調査項目」、「着眼点」の根拠
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成  (2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性  (3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽の多様性の理解につながる、取り扱う楽器、楽曲の分量はどのようなものであるか。</li> <li>・ 創意工夫することや味わって聴くことを促すために、どのような学習内容が取り上げられているか。</li> <li>・ 音楽に親しんでいく態度を養う、楽器関連情報の内容と掲載状況はどのようなものであるか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 系統的、発展的に学ぶために、どのような編成のアンサンブル曲等が取り上げられ、その分量はどのようなものであるか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数の領域や分野を関連させた題材を構想するための、創作や鑑賞教材の分量はどのようなものであるか。</li> </ul>	「調査項目」、「着眼点」の根拠  (1) 中学校学習指導要領解説総則編（P35） 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 ①知識及び技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等の涵養  (2) 中学校学習指導要領解説総則編（P49） 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること  (3) 中学校学習指導要領解説総則編（P7） 資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定)  [2024(R6)年度～2028(R10)年度]	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実  (2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価  (3) ICTを活用した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の進度に即して学ぶために、どのような楽曲の配列の特徴があるか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習評価の手掛かりとなる、目標や活動内容等の示し方と分量はどのようなものであるか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二次元コードの数と掲載内容の分類の傾向はどのようなものであるか。</li> </ul>	第4次岐阜県教育振興基本計画（P6） <b>施策Ⅱ</b> 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成  (1) Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（P26）  (2) Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：教職員の指導改善・児童生徒の学習改善につながる学習評価の充実（P26）  (3) Ⅱ-9 ICTを活用できる力の育成：資質・能力の育成に寄与するICTの効果的な活用（P29）
3 印刷・製本等	(1) 教科書の厚み、重量  (2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等  (3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の大きさ、総ページ数、重量はどのようなものであるか。</li> <li>・ 楽譜や図、写真の示し方、教科書の構成や頁のレイアウト等は、どのような配慮がなされているか。</li> <li>・ 目次の特徴、資料の内容はどのようなものであるか。</li> </ul>	